

いわぬまぶんかざいつうしん 岩沼文化財通信

てんじ
～ききんの展示～



岩沼市マスコットキャラクター
岩沼係長

第 2 号

2023年9月15日発行

岩沼市ふるさと展示室(市民図書館2階)

TEL:0223-25-2302

質問受付中!

れいわ きかん てんじしつ
令和5年6月20日～9月3日までの期間、ふるさと展示室で

きかくてん きょうさい いわぬまちいき
企画展を開催しました。タイトルは『凶歳と岩沼地域』どのよう

ないよう しょうかい
な内容だったのか。少し紹介したいと思います。



きょうさい のうさくもつ みの とし い み てんこう さいがい さくもつ みの
凶歳 「農作物が実らない年」という意味があります。天候や災害などにより作物が実ら
ず、食べ物が無くなり、多くの人々が亡くなりました。



てんめい ききん 天明の飢饉



こうりんじ (岩沼市)
の飢饉死者の供養塔

ききん た もの ふそく ひとひと う くる
※飢饉とは食べ物が不足して人々が飢えに苦しむこと

てんめい きおん ひく ひ つづ がつ あつぎ
1783年(天明3)この年は、気温の低い日が続き、7月になっても厚着

さむ さくもつ みの だいきょうさく
をしないといけないほど寒く、作物が実らず大凶作となりました。食べ物

な がし ひと えいようぶそく びょうき せんだいはん まんにん
が無くなり餓死する人や栄養不足から病気にかかり、仙台藩では20万人

な つた
が亡くなったと伝えられています。



いわぬまちいき ききん しんこくか た もの もと ある
岩沼地域も飢饉が深刻化し、食べ物を求め歩く
人が1日に何十人もいて、放火や強盗も発生
するなど混乱しました。

ききん そのな 飢饉への備え



がしかこ
餓死困い

しょくりょうぶそく らいねん こめづく のこ ともみ た
食料不足になると来年の米作りのために残しておく粃なども食べてしま
うことがありました。家族を守るため、家の主は飢饉になっても絶対に手
をつけてはならない粃を隠しました。隠し場所は、家を継ぐ人だけに伝えた
そうです。

しりょう ふる いえ と こわ さい やね はしら しば
この資料は、岩沼市内の古い家を取り壊した際、屋根の柱に縛られてお
り、下から見ても見えない所にあつたそうです。

ほか ききん の こ い く た め の きまざま
他にも飢饉を乗り越えて行くための様々
な工夫が展示されていました。